

会員建築作品紹介



9号棟「フタバヤビル」

横浜支部 (株)ナトリ建築設計事務所

■計画概要

用 途：店舗・事務所

構 造：鉄骨造6階建

建築面積：162.96㎡

延床面積：835.18㎡

建築設計という業務を行っている、一般的には技術職的なイメージを持たれることもあるが、実際には人との関わりによって進められていく非常にヒューマンな職なのだ実感することが多々ある。そんな生業において施主との出会いはある種運命的なものだと感じているのだが、こと今回のこの戸塚のプロジェクトにおいては、それこそ稀な出会い方をしていた。プロジェクトへの誘いを受け、計画の概要を把握した段階で、その次に行ったチーム内での計画地の振分け。今回の場合において、正確には地権者は施主ではないのだが、打合せを行い、要望を伺い、承諾を得るといったステップを踏む作業を考えると、普段の業務における施主とほぼ変わらない存在であった。そんな地権者に会わずして、この2年以上におよぶプロジェクトがスタートした。結果的に考えると、あの時の計画地振分

けがある意味運命のサイコロのようなものであったのだろう。

そんな稀な出会いをしたこの「フタバヤビル」。立地的には現在建設中の公益施設と向かい合う東通り（旧図書館通り）と、6mの車輛進入禁止である仲通りとの角地にあり、その角から戸塚駅方向へ延びる道の先にはJR駅のホームを覗くことが出来る。逆にいうと将来的にも駅のホームから建物をうかがい知ることが出来る個別ビルゾーン（現戸塚パルソ）唯一のビルであり、地権者もその意味をよく理解していた。

今回の戸塚駅西口再開発エリア全体のデザイン指針を統括していたデザイン委員会との意見交換などから、各建築物には統一したアクセントカラーを配し、またそのアクセントカラーを将来的に壁面看板が計画される位置を想定して施すことで、看板の乱立による街並景観の劣化を予防するという試みを行うことになったので、このビルの角にそのアクセントカラーを配置することにした。将来看板が設置されれば、駅のホームから臨むそれは駅前商店街の広告塔のような役割を果たし、またたとえ看板がない状態でもその鉤括弧のような形状は、同じカラーを持つこの街区をひとつにまとめ、抱え込むような感じを抱かせることが出来ればという願いを込めている。そんな風にして街区にとって何かしらの存在意義を持つ建物にするという共同作業を今回の地権者と共に出来たのではないかなと思う。



戸塚パルソ9号棟



外観パース(壁面看板付)